

専門職大学院

アカウンティングスクール（国際会計研究科）

2010年4月、アカウンティングスクール(国際会計研究科)は、中央大学全体の都心展開戦略の一環として新たに取得した市ヶ谷田町キャンパス(中央大学ミドルブリッジ)に全面移転し、運用が開始されています。

同キャンパスは、地下鉄南北線・有楽町線市ヶ谷駅の地上出口間近に位置し、社会人学生にとっては最適なロケーションで、外堀通りに面したビルは、JR中央線・総武線の車窓からもはっきりと識別可能です。一言で表せば「中央大学

の都心の新たな研究・教育拠点たる」ビルと言えましょう。

アカウンティングスクールは今年度、IFRS(国際財務報告基準)を英語で教えるコースを新設しました。国際会計研究科の設立当初から想定されていたこの試みは、日本でもやがて上場企業に適用が義務づけられるであろうIFRSへの対応という面では、国際的な流れの先取りとも言えます。アカウンティングスクールは、国際的な経営感覚の優れたプロフェッショナルの育成をめざします。



ロースクール（法務研究科）

本年は、受験回数が「法科大学院修了後5年間に3回まで」と定められた新司法試験において制度開始から5年目の実施時期にあたります。本学の2005年度修了生(修業年限が2年の法学既修者のみ)についてみると、全体の約77%が新司法試験に合格し、その他、在学中に旧司法試験に合格して修了しても新司法試験を受験しなかった場合などを含めれば、司法試験合格率は約80%にのぼります。

一方、修業年限が3年の法学未修者の場合は、合格率は既修者に及びませんが、

未修者教育充実のための諸改革が徐々に浸透し、昨年頃から合格実績が上向きの傾向にあり、今後いっそうの成果が期待されます。

なお、本年の合格者には、身体の障害を乗り越えて合格した1期生や、未修者として基礎から法律を学び全国最高齢で合格した2期生も含まれています。このことは、本学が、多数の司法試験合格者を輩出するとともに、社会の様々な場面で多様な視点をもって活躍できる法曹を養成していることを示しています。



※ 平成22年新司法試験の結果は、27ページをご覧ください。

ビジネススクール（戦略経営研究科）

ビジネススクール(戦略経営研究科)は、2008年4月に社会人が働きながら2年間でMBAを取得できるコース(平日夜間・土日開講)として、戦略経営専攻(MBAプログラム:専門職学位課程)を、さらに働きながら3年間で博士学位を修得できるコースとして、2010年4月にビジネス科学専攻(DBAプログラム:博士後期課程)を開設し、専門職大学院(プロフェッショナルスクール)であるビジネススクールとしては、極めて特徴的な体制をとっています。

本研究科は、「日本発戦略経営」を世界に発信するべく、企業の戦略経営の最先端の理論から現場の状況まで、形式知(理論)と暗黙知(経験知)を兼ね備え、グローバル社会に適応でき、企業経営の未来を切り拓く、タフな戦略経営リーダーを育成することを目標としています。

また、積極的に社会に研究成果を還元すべく、一般公開の公開講座、有料のセミナー講座、科目等履修制度、国際シンポジウムの開催(中央大学創立125周年記念事業)を行っています。

